

オムロン、北國が開幕3連勝 !!

～第33回日本ハンドボールリーグ第3週～

9月6日からスタートし、早くも第3週を迎えた日本リーグ。

男子は唯一の連勝スタートを飾った大同特殊鋼が3連勝を狙って北陸電力と対戦した。開始1分、北電・桜井、山原に連続得点を許して先制された大同は、末松、白らがカットイン、速攻からすぐに取り返していく。その後中盤あたりまで一進一退の攻防が続くが、13分7-8の場面で北電・山原が7mスローをはずして同点チャンスを逃すと、大同は白の個人技と得意の速攻で一気に北電を突き放し、前半で10点の差をつける。後半、北電は桜井を中心に反撃するが、ペースを握った大同は危なげない試合ぶりで北電を寄せつけなかった。

1400人超の観衆が集まった2位・大崎電気と8位・トヨタ自動車の一戦は、大崎・太田の速攻で幕を開けた。自動車も光増が入れ返すが、大崎のプレスデフェンスを攻めあぐね、得点が伸びない。逆に大崎は4分から宮崎、岩永、内田らで6連取。試合の主導権を完全に握ると前半を23-13と大量リードで終了。後半もメンバーを入れ替えながら加点する大崎の前に、自動車は山口らが単発で得点するのが精一杯。結局はCP全員得点の大崎が2連勝を飾った。

大崎と勝点で並ぶ3位・湧永製薬と、前週Hondaを撃破した豊田合成の試合は、序盤、両チームGKの好守で落ち着いた立ち上がりとなった。その中でペースを握ったのは、7分から名嘉のサイドシュートを皮切りに4連取した湧永。固いデフェンスを背景に新しい速攻が冴え、6点のリードで後半へ。後半巻き返したい合成だったが、いきなり4連続失点と湧永に出端をくじかれる。その後は湧永の固いデフェンスを崩せず、終盤には8連続失点するなど相手のポストプレーと速攻から失点を重ねて完敗となった。なお、この試合で湧永・山口選手兼任監督が得点を603とし、チームの個人最多得点を更新した。

女子は首位のオムロンと、3位のソニーセミコンダクタ九州が激突。GK藤間の好守を背景に、序盤の主導権を握ったオムロンは、ソニーのミスを逃さず、17分11-6とする。ソニーは郭の個人技から23分には10-11と詰め寄ったが、オムロンが洪を中心に再び取り返し、15-11で前半を終える。堅守を軸に、後半も試合を優位に進めたオムロンが、終盤の追い上げをかわして3連勝とした。後半22分から亀山、高柄らで詰め寄ったソニーは、26分、28分に連続で7mスローを藤間にセーブされたのが痛かった。

オムロンをピタリと追走する北國銀行は、三重バイオレットアイリスを圧倒。序盤から上町のロング、若松のサイドなどで三重を突き放していく。三重はバックプレーヤーのシュート決定率が低く、波に乗れない。北國・上町を厚く守る策も実らず、前半を9-16で終えるのがやっとな。後半、伏見、星野、伊藤らが反撃した三重だったが、前半のビハインドは大きく、北國は余裕を持って試合終了のホイッスルを聞いた。(2ページに続く)



ともに開幕3連勝の①大同・末松②オムロン・洪

第4週の日程

9月27日(土)	富山・氷見市ふれあいスポーツセンター(JR氷見線氷見駅徒歩20分)	14:00～(男)トヨタ自動車×大同特殊鋼
	福井・福井県営体育館(JR北陸本線福井駅徒歩20分)	16:00～(男)湧永製薬×トヨタ車体
	鹿児島・霧島市国分体育館(JR日豊本線国分駅徒歩20分)	13:00～(男)北陸電力×大崎電気
9月28日(日)	鹿児島・霧島市国分体育館(JR日豊本線国分駅徒歩20分)	14:00～(女)ソニーセミコンダクタ九州×HC名古屋
	三重・鈴鹿市立体育館(近鉄名古屋線白子駅徒歩5分)	13:00～(男)Honda×琉球コラソン
	三重・鈴鹿市立体育館(近鉄名古屋線白子駅徒歩5分)	15:00～(女)三重バイオレットアイリス×広島メイプルレッズ
	福岡・福岡市民体育館(地下鉄箱崎線千代田駅徒歩1分)	14:00～(女)北國銀行×オムロン
	福岡・福岡市民体育館(地下鉄箱崎線千代田駅徒歩1分)	16:00～(男)トヨタ紡織九州×豊田合成



順当に勝利を飾った大崎電気・東俊介

車体・紡織が2勝目、広島は初勝利

21日、徳島、佐賀、香川で行われた残る3試合も、上位戦線に踏みとどまりたい、今シーズンの初勝利をあげたいといった各チームの思惑がぶつかり合った。

徳島でのHonda-トヨタ車体の対戦は、互角の滑り出しから9分、Hondaが竹田のゴールを皮切りに5連取。それでも車体は門山を軸に慌てず盛り返して態勢を入れ替え、17-15と2点リードで前半を折り返した。後半は車体が開始からの5連取と5分過ぎからの4連取で8分26-16と10点リード。持ち味を発揮して白星先行の車体に対し、Hondaは開幕から元気がなく3連敗。

佐賀ではトヨタ紡織九州が琉球コラソンを迎え撃った。大黒柱・田場を中心に、食らいついて勝機を見出そうとするコラソンに対し、紡織は持ち前のアグレッシブなディフェンスとGK松野の好守から速攻に持ち込んで、前半なかば過ぎから主導権をガッチリ。紡織は後半に入っても軽快にリードを広げて2勝目をマーク。コラソンは日本リーグの洗礼を浴びる戦いが続いている。

香川での広島メイプルレッズ-HC名古屋の一戦は、先手をとってプレッシャーをかけた名古屋が、前半10分、4-4の同点から佐藤、高橋(玲)、秋山の3連打で12分7-4と3点リード。名古屋が理想的な展開に持ち込みかけたものの、広島は故障から復帰の大前を中心に力強く反撃し、22分には逆転に成功(10-9)。その勢いで前半を16-11と5点差で折り返した広島は、後半、総勢11人(CPは8人)と選手層の薄い名古屋を圧倒。広島は連敗スタートのウップンを晴らす猛攻で37-22と名古屋を押し切り、今シーズン初勝利をマークした。

第5週は、9月27、28日の両日、男子5試合、女子3試合が予定され、27日、富山での男子・湧永製薬-トヨタ車体、28日、福岡での女子・北國銀行-オムロンなど興味深いカードが組まれている。

<p>◆ 9月21日(日) 女子 石川・小松総合体育館</p> <p>北國銀行 28 (16-9) 18 3勝0分0敗</p> <p>三重ハイク トアリス 1勝0分2敗</p> <p><0/1> K 下地 浅井 K <0/5> 6/7 7/7 上町 横川 1/2 1/3 宮前 桂 2/4 0/0 川井 宮下 1/2 1/4 小野澤 竹上 0/2 4/6 横嶋 谷口 0/0 2/2 野路良 北村 0/0 0/3 武井 伏見 2/3 2/2 <0/1> K 田代 橋本 3/6 3/5 仲宗根 野中 0/0 1/1 野路里 毛利 K <1/2> K 大澤 星野 3/5 0/0 八十島 伊藤 4/13 3/6 若松 森田 K</p> <p>6/7 22/37 4(FPP)13 16/37 2/2 審判(岩上・山口) 観客 820人</p>	<p>◆ 9月21日(日) 女子 奈良・生駒市市民体育館</p> <p>オムロン 30 (15-11) 27 3勝0分0敗</p> <p>ソニセミコンダ クタ九州 1勝0分2敗</p> <p><0/1> K 勝田 中島 K <0/1> 2/3 城内 郭恵静 6/10 0/1 0/0 安心院 長野 1/3 0/0 巻 工藤 1/6 0/0 西本 亀山 2/3 3/3 5/8 藤井 高栖 5/6 4/5 佐久川 飛田 K <0/2> 4/4 坂元 樋口 3/6 3/4 0/0 久野 佐師 0/0 1/1 8/15 洪廷昊 飯田 2/3 <3/5> K 藤間 南 K <0/1> 0/1 高田 東 1/2 0/1 0/0 市村 川口 0/1 3/7 東濱 金城 3/9</p> <p>4/4 26/43 13(FPP)5 24/49 3/6 審判(佐々木・高原) 観客 1423人</p>	<p>◆ 9月21日(日) 男子 奈良・生駒市市民体育館</p> <p>大崎電気 43 (23-13) 23 2勝1分0敗</p> <p>トヨタ 自動車 1勝0分2敗</p> <p>K 浦和 増田 K 0/1 2/3 小澤 岩田 1/2 7/7 前田 栗崎 3/4 0/1 5/5 中川 小林 0/1 3/4 永島 多和田 2/10 0/1 5/7 太田 倉田 2/2 4/6 酒井 佐藤 K 1/1 4/5 岩永 澤田 0/0 1/2 東俊介 成田 0/0 1/3 秋山 出會 2/2 6/6 内田 稲本 K <1/2> 1/1 猪妻 光増 5/12 3/7 宮崎 福田 0/0 1/1 <2/3> K 東佑三 山口 7/15</p> <p>1/2 42/56 13(FPP)6 22/48 1/3 審判(家永・福島) 観客 1423人</p>
--	--	---



地元選手とのふれあいを大切に

福井県内においては、近年の小学・中学・高校といずれにおいても全国大会で優勝を飾り、その活躍ぶりには目を見張るものがあります。

当社においても、ハンドボール国内最高峰の日本リーグに北陸電力ブルーサンダーが加入しており、地元の熱い声援を受けて奮起しております。また、毎年小中学校のハンドボール教室や北陸電力杯ハンドボール大会を実施するなど、選手とのふれあいを深めながら技術力の向上とスポーツ振興の下支えになっていると自負しております。

同部OBについても、日頃から小・中学校の指導にあたり、先日の全国中学生ハンドボール大会での優勝に大きく貢献しており、そのほか日本リーグ審判員を務めるなど様々な場所で活躍しております。

今後とも当社ハンドボールチームに声援をお願いいたしますとともに、OBたちの活躍にもご期待ください。

〈地域で活躍するOB〉

田中 秀昭さん

北陸高校ハンドボール部を経て入社。北電ブルーサンダーの初代監督として、日本リーグ2部の初優勝に大きく貢献した。ブルーサンダーの監督を引退した後、木田ブルーロケット2000の男女チームの総監督として、全国大会での活躍に貢献。今年度においては、明倫中学校男子ハンドボールチームのコーチに就任して技術指導を行い、8月に福井県で開催された全国大会において優勝に導いた。





今期初勝利をマークした広島メイプルレッズ・土屋

◆ 9月21日(日) 女子
香川・高松市香川総合体育館

広島メイプル
レッズ 37 (16-11) 22 HC名古屋
1勝0分2敗 21-11 0勝0分3敗

<0/4> K 堂 面	近 藤 K <2/3>
6/7 土 屋	池 田 0/0
0/1 樹 山	佐 藤 4/10 1/1
5/9 大 前	高 橋 瑛 2/7
5/13 植 垣	鈴 木 1/3
1/3 3/9 李	菅 谷 2/10 3/3
7/7 菅 野	高 橋 知 3/5
0/0 坪 井	高 橋 玲 2/3
3/6 伊 藤	家 城 K
2/2 坂 口	秋 山 4/5
K 亟 々	徳 永 K
0/0 安 齋	
1/1 石 山	
4/4 新 城	

1/3 36/59 9(FPP)7 18/43 4/4
審判(黒木秀・黒木龍) 観客 753人

◆ 9月21日(日) 男子
香川・高松市香川総合体育館

湧永製菓 39 (16-10) 20 豊田合成
2勝1分0敗 23-10 1勝0分2敗

K 志 水	大 立 K <1/1>
5/6 山 中	原 0/0
1/2 福 田	大 橋 5/13
1/5 佐 藤	桶 谷 1/7
5/7 名 嘉	加 藤 0/0
0/1 3/4 東	大 植 1/4
K 坪 根	渡 久 山 0/4
10/14 新	今 村 3/11
3/6 武 藤	中 村 4/6
0/1 今 井	芳 仲 1/3
K 松 村	藤 堂 K
5/7 古 家	米 本 2/6
3/4 山 口	嶋 中 3/14
3/9 東 長 濱	田 形 0/0

0/1 39/65 5(FPP)4 20/68 0/0
審判(河合・田中) 観客 1192人

◆ 9月21日(日) 男子
徳島・徳島市立体育館

大同特殊鋼 41 (22-12) 25 北陸電力
3勝0分0敗 19-13 1勝0分2敗

1/2 松 林	西 田 K
11/12 末 松	高 橋 5/10
1/1 浦 田	神 田 2/9
1/1 富 田	落 合 5/7
9/12 地 引	桜 井 8/11
2/4 武 田	前 田 1/3
6/9 岸 川	杉 山 0/1 1/1
0/1 大 田	大 谷 0/0
<1/2> K 高 木	表 0/0
3/4 李 才 佑	山 原 2/6 1/3
0/0 千 々 波	亀 田 0/0
<1/2> K 東	丸 山 K
6/6 白 元 喆	石 塚 0/0
1/3 松 永	有 江 K

0/0 41/55 12(FPP)14 23/47 2/4
審判(佐藤・佐路) 観客 1152人

◆ 9月21日(日) 男子
徳島・徳島市立体育館

トヨタ車体 36 (17-15) 27 Honda
2勝0分1敗 19-12 0勝0分3敗

K 木 下	中 谷 0/0
2/3 田 中	鶴 見 4/11
7/12 高 智	柳 本 5/10 0/1
0/1 野 村	河 瀬 1/1
3/4 藤 田	竹 田 6/14 0/2
3/3 北 出	横 地 4/8
<3/3> K 田 平	伊 藤 1/1
2/5 小 沢	青 山 0/0
0/0 長 谷 川	吉 村 K
0/0 鶴 谷	瀬 村 0/0
1/2 1/3 香 川	野 嶋 6/9
6/7 崎 前	高 木 0/0
1/1 3/4 銘 苺	浦 兼 K <1/3>
7/13 門 山	方 K

2/3 34/55 7(FPP)9 27/54 0/3
審判(浜田・小笠原) 観客 1213人

◆ 9月21日(日) 男子
佐賀・トヨタ紡織九州クレインアリーナ

トヨタ紡織九州 35 (18-10) 19 琉球
2勝0分1敗 17-9 0勝0分3敗

<1/3> K 松 野	久 高 0/0
4/4 中 嶋	村 山 2/7 2/3
3/5 西 端	棚 原 1/1
0/2 村上直	岡 田 2/5
6/11 村上秀	積 0/0
3/4 呉相民	池 田 0/0
1/1 鶴 田	志 慶 真 0/0
6/9 海 道	内 田 K <1/1>
0/0 阪	水 野 矢 0/4
K 谷 川	内 山 2/3
4/4 鈴 木	田 場 5/8
1/2 4/7 藤 山	高 田 2/5
0/1 船 木	石 田 K <0/1>
3/5 泉 原	水 野 紀 3/7

1/2 34/53 7(FPP)5 17/40 2/3
審判(浦川・石崎) 観客 390人



ソニーセミコンダクタ九州

鹿児島大会開幕戦にご注目!

9月27日は鹿児島大会の開幕戦! 鹿児島大会を会場アナウンスで盛り上げる岩下美紀さん(写真④)のコメントを紹介いたします。

『第33回日本リーグがいよいよ始まりました。昨年、“中東の笛”で注目されたハンドボール。各会場に今シーズンは多くの方が足を運んでくれるはず…と期待しています。



会場の皆さんには選手の持ち味に

スピード・パワー、またルールを分かりやすく伝えられるよう情熱をもってアナウンスをするつもりです。そして、地元BLUE SAKUYAの初優勝を願いつつシーズンに挑みたいと思っています。

BLUE SAKUYAの注目はコーチ兼選手の郭恵静選手! 彼女の勝ちにこだわる勝負魂とテクニックは感動ものですよ。あとオムロンの藤井紫緒選手のパワーは魅力です!

男子は初参戦の琉球コラソン! 見てみたいです。そして五輪出場した白元喆選手(大同特殊鋼)の試合を左右するコゴゾのプレーは実にお見事ですから動きに注目ください!

今シーズンもよろしくお願ひします!

【岩下さんのプロフィール】

鹿児島市出身。高校時代ハンドボール選手としてインターハイ出場。鹿児島を拠点にテレビ・ラジオ番組のパーソナリティに加え、主にスポーツ番組の企画・制作、イベントを手がける。座右の銘は「念ずれば花開く」

男女個人賞レース 第3週終了

《男子》

《女子》

得点王

1 末松 誠 (大同特殊鋼)	25点	(3試合)	1 上町 史織 (北國銀行)	24点	(3試合)
2 光増 由矢 (トヨタ自動車)	21点	(3試合)	2 郭 惠 静 (ソニー)	20点	(3試合)
3 宮崎 大輔 (大崎電気)	20点	(3試合)	3 藤井 紫緒 (オムロン)	18点	(3試合)
3 竹田 寛明 (Honda)	20点	(3試合)	3 李 キョンミン (メイプルレッズ)	18点	(3試合)
3 村山 裕次 (琉球コラソン)	20点	(3試合)	5 横嶋 かおる (北國銀行)	17点	(3試合)
3 山口 恭裕 (トヨタ自動車)	20点	(3試合)	6 佐久川 ひとみ (オムロン)	16点	(3試合)
7 新 建 二 (湧永製薬)	19点	(3試合)	6 洪 廷 昊 (オムロン)	16点	(3試合)
8 内田 雄士 (大崎電気)	18点	(3試合)	6 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	16点	(3試合)
9 高智 海吏 (トヨタ車体)	17点	(3試合)	9 佐藤 由紀恵 (HC名古屋)	15点	(3試合)
9 大橋 隆之 (豊田合成)	17点	(3試合)	10 城内 真紀 (オムロン)	13点	(3試合)
11 中畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	16点	(3試合)	10 伏見 麻美子 (バイオレットアイリス)	13点	(3試合)
11 太田 芳文 (大崎電気)	16点	(3試合)	10 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	13点	(3試合)
11 門山 哲也 (トヨタ車体)	16点	(3試合)	13 菅野 喜恵 (メイプルレッズ)	12点	(3試合)
11 鶴 見 拓 (Honda)	16点	(3試合)	13 仲宗 根 彩 (北國銀行)	12点	(3試合)
15 白 元 喆 (大同特殊鋼)	15点	(3試合)	13 樋口 真央 (ソニー)	12点	(3試合)
15 東 慶 一 (湧永製薬)	15点	(3試合)			
15 柳本 義文 (Honda)	15点	(3試合)			

フィールド得点賞

1 末松 誠 (大同特殊鋼)	21点	(3試合)	1 郭 惠 静 (ソニー)	19点	(3試合)
1 光増 由矢 (トヨタ自動車)	21点	(3試合)	2 横嶋 かおる (北國銀行)	17点	(3試合)
3 宮崎 大輔 (大崎電気)	20点	(3試合)	3 佐久川 ひとみ (オムロン)	16点	(3試合)
4 新 建 二 (湧永製薬)	19点	(3試合)	3 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	16点	(3試合)
4 山口 恭裕 (トヨタ自動車)	19点	(3試合)	5 洪 廷 昊 (オムロン)	15点	(3試合)
6 内田 雄士 (大崎電気)	17点	(3試合)	6 藤井 紫緒 (オムロン)	14点	(3試合)
6 高智 海吏 (トヨタ車体)	17点	(3試合)	6 佐藤 由紀恵 (HC名古屋)	14点	(3試合)
6 竹田 寛明 (Honda)	17点	(3試合)	8 城内 真紀 (オムロン)	13点	(3試合)
9 中畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	16点	(3試合)	8 李 キョンミン (メイプルレッズ)	13点	(3試合)
9 太田 芳文 (大崎電気)	16点	(3試合)	10 菅野 喜恵 (メイプルレッズ)	12点	(3試合)
9 門山 哲也 (トヨタ車体)	16点	(3試合)	10 上町 史織 (北國銀行)	12点	(3試合)
9 鶴 見 拓 (Honda)	16点	(3試合)			

シュート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 内田 雄士 (大崎電気)	17点/ 17射 1.000	1 城内 真紀 (オムロン)	13点/ 16射 0.813
2 末松 誠 (大同特殊鋼)	21点/ 29射 0.724	2 佐久川 ひとみ (オムロン)	16点/ 20射 0.800
3 中畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	16点/ 24射 0.667	3 横嶋 かおる (北國銀行)	17点/ 22射 0.773
4 太田 芳文 (大崎電気)	16点/ 25射 0.640	4 菅野 喜恵 (メイプルレッズ)	12点/ 19射 0.632
5 宮崎 大輔 (大崎電気)	20点/ 33射 0.606	5 藤井 紫緒 (オムロン)	14点/ 24射 0.583

7mスロー得点賞

1 村山 裕次 (琉球コラソン)	8点	(3試合)	1 上町 史織 (北國銀行)	12点	(3試合)
2 東長濱 秀作 (湧永製薬)	5点	(3試合)	2 伏見 麻美子 (バイオレットアイリス)	9点	(3試合)
3 末松 誠 (大同特殊鋼)	4点	(3試合)	3 樋口 真央 (ソニー)	6点	(3試合)
3 東 慶 一 (湧永製薬)	4点	(3試合)	4 李 キョンミン (メイプルレッズ)	5点	(3試合)
3 香川 将之 (トヨタ車体)	4点	(3試合)	5 吉田 祥子 (オムロン)	4点	(1試合)
			5 藤井 紫緒 (オムロン)	4点	(3試合)

7mスロー阻止率賞 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 高木 尚 (大同特殊鋼)	5本/ 7射 0.714	1 徳永 悦代 (HC名古屋)	2本/ 3射 0.667
2 田平 龍太郎 (トヨタ車体)	4本/ 7射 0.571	2 近藤 澄江 (HC名古屋)	4本/ 9射 0.444
3 兼浦 裕也 (Honda)	2本/ 4射 0.500	3 藤間 かおり (オムロン)	3本/ 8射 0.375
4 東 佑 三 (大崎電気)	4本/ 9射 0.444	4 田代 ひろみ (北國銀行)	2本/ 6射 0.333
5 松野 雅崇 (トヨタ紡織九州)	2本/ 6射 0.333	5 堂面 妙子 (メイプルレッズ)	2本/ 14射 0.143
5 藤堂 聖二 (豊田合成)	1本/ 3射 0.333	5 浅井 友可里 (バイオレットアイリス)	1本/ 7射 0.143

第 33 回 日本ハンドボールリーグ成績表

第3週終了 9月21日

順位	男子	大同特殊鋼	大崎電気	湧永製薬	トヨタ車体	トヨタ紡織九州	北陸電力	トヨタ自動車	豊田合成	Honda	琉球コラソン	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大同特殊鋼				32 20	38 18	41 25					3	3	0	0	6	111	63	48
2	大崎電気			27 27				43 23			49 22	3	2	1	0	5	119	72	47
3	湧永製薬		27 27				32 18		39 20			3	2	1	0	5	98	65	33
4	トヨタ車体	20 32						37 21		36 27		3	2	0	1	4	93	80	13
5	トヨタ紡織九州	18 38								28 25	35 19	3	2	0	1	4	81	82	-1
6	北陸電力	25 41		18 32					29 27			3	1	0	2	2	72	100	-28
7	トヨタ自動車		23 43		21 37						35 32	3	1	0	2	2	79	112	-33
8	豊田合成			20 39			27 29			28 27		3	1	0	2	2	75	95	-20
9	H o n d a				27 36	25 28			27 28			3	0	0	3	0	79	92	-13
10	琉球コラソン		22 49			19 35		32 35				3	0	0	3	0	73	119	-46

順位	女子	オムロン	北國銀行	ソニーセミコンダクタ九州	広島メイプルレッズ	三重ハイオレットアイリス	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	オムロン			30 27	31 22		36 12	3	3	0	0	6	97	61	36
2	北國銀行			23 21	29 21	28 18		3	3	0	0	6	80	60	20
3	ソニーセミコンダクタ九州	27 30	21 23			26 21		3	1	0	2	2	74	74	0
4	広島メイプルレッズ	22 31	21 29				37 22	3	1	0	2	2	80	82	-2
5	三重ハイオレットアイリス		18 28	21 26			26 19	3	1	0	2	2	65	73	-8
6	H C 名 古 屋	12 36			22 37	19 26		3	0	0	3	0	53	99	-46

この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。
同勝点の場合は、1.対戦間勝点 2.対戦間得失点差 3.総得失点差 4.総得点 の多い順で順位付けしています。